

理 由 書

深谷通信所跡地は、昭和19年に旧日本海軍の通信施設（正式名称：東京海軍通信隊戸塚分遣隊）として開隊し、昭和20年に米軍により接收されましたが、平成16年の日米政府間における返還方針合意を経て、平成26年6月に返還されました。

泉区南部、戸塚区境の市街化調整区域に位置し、面積は約77ha、西側に3・4・3号環状4号線、北側に3・3・16号桂町戸塚遠藤線、東側に3・3・11号環状3号線及び第10号宇田川があります。

当該地は「横浜市水と緑の基本計画（計画期間：平成18～37年度）」において、緑の10大拠点の一つである下和泉・東俣野・深谷周辺地区に位置しており、全市的・広域的な課題への対応を考慮しながら、緑豊かな公園を中心的な施設とし、自然、スポーツ・健康、防災、文化の要素を備えた整備を検討するとしています。

「横浜市都市計画マスタープラン泉区プラン（平成28年11月）」においても同様に、全市的・広域的な課題への対応を考慮しながら、緑豊かな公園を中心的な施設とし、自然、スポーツ・健康、防災、文化の要素を備えた整備を検討するとしています。「横浜市都市計画マスタープラン戸塚区プラン（平成30年3月）」ではこれに加えて、整備とともに利用者の増加が見込まれることから、これらの土地利用に合わせた幹線道路やアクセス道路の整備を進めるとしています。

また、市民意見募集に寄せられた意見を踏まえ平成30年2月に策定した「深谷通信所跡地利用基本計画」においては、災害時に広域的な防災拠点として利用できる防災機能の充実を図るとともに、豊かな自然環境を創出し市民の活動拠点となる広場や多様な市民ニーズに応えるスポーツ施設等を備えた魅力的な公園の整備や、全市的な課題を解決するため将来的に不足が懸念されている墓園の整備、公園機能と一体となった健康づくりができるみちづくり、広域道路ネットワークと連携した道路の整備を目指すとしています。

この度、これらの計画に基づき検討を進め、関係機関との協議も整ったことから、6・5・1601号深谷通信所跡地公園を運動公園として追加し、第2号深谷通信所跡地墓園を追加します。

あわせて、3・1・8号深谷通信所跡地外周和泉線及び3・4・57号深谷和泉線を追加します。